

## 冬の大山ならではの

# 「仮装して滑走大会」

1月27日(日)、だいせんホワイトリゾート中の原エリアで、第12回「仮装して滑走大会」が行われました。県内外から参加した9チームが、着ぐるみや手作りの衣装、仮装にあわせた音楽とともに特設コースを滑走し、審査員の前でパフォーマンスを披露しました。

「毎年、大会当日は天候が良くない」とのジンクスを今年は払拭。第12回大会は素晴らしい快晴とゲレンデコンディションに恵まれました。見事グランプリに輝いたの



▶会場を沸かした「ケモグルミすきー」がグランプリに!



▲準グランプリの「天オ一家」はソーラン節で熱演

は岡山県から参加した「ケモグルミすきー」チームのみなさん。犬たちが運んできた龍が今年の干支のへびに変身するというストーリーで会場を魅了しました。

アニメや大河ドラマの主人公になりきったり、漁師姿でソーラン節を踊ったりといった仮装もあり、会場に集まった人々は、スキー場ならではのイベントに沸きました。

## マスクの寄贈がありました



1月25日(金)、名和食鶏有限公司(枝谷純一社長)から、地元に貢献したいと大山町に不織布マスク1万枚の寄贈がありました。

贈呈式で枝谷社長は「仕事柄、わが社ではマスクは必需品です。今は、インフルエンザが流行する季節なので、健康管理に役立ててもらえたら」と寄贈の思いを話されました。



▲マスクを寄贈した枝谷社長(中央)

## 白熱!新春卓球大会



新春卓球大会が2月10日(日)、名和農業者トレーニングセンターで行われました。試合は男女混合団体ダブルスで行われ、8チームが参加し熱戦を展開しました。

体育館の寒さもなんのその。珍プレー、好プレーがいくつも飛び出し、会場は笑顔いっぱい。和気あいあいの雰囲気になりました。

優勝は平木チーム、準優勝は岡Aチーム、3位は石井垣Aチームがそれぞれ獲得しました。



▶優勝した平木チーム

### 県総合情報誌

## 「とっとりNOW」

97号(3月1日発行)



好評発売中

世界に誇る日本の伝統芸能、人形浄瑠璃。かつて30座超の劇団が、鳥取県東部にも存在したが、過疎化や娯楽の多様化で徐々に衰退、今や片手で足りるほど。巻頭特集では、この現状を憂いながらも懸命に守り継ぐ人々を紹介。

- ◆取扱場所 県内書店ほか
- ◆定価 1部300円(税込)
- ◆問い合わせ先 鳥取県広報連絡協議会(県庁内)

☎0857・26・7086